

## 伊勢市郷土資料館基本計画の策定について

### 1. 郷土資料館基本計画策定委員会の設置・開催

委員会	開催日	内容
第 1 回	令和 5 年 12 月 19 日	基本構想の審議等
第 2 回	令和 6 年 1 月 26 日	基本構想・基本計画の審議等
第 3 回	令和 6 年 2 月 27 日	

### 2. 基本構想(案) 資料1-2参照

### 3. 基本計画(案)

第 1 章 施設改修計画
(1)施設の概要
(2)施設改修・整備の考え方
(3)諸室機能・規模
第 2 章 展示計画
(1)展示の考え方
(2)展示テーマ及び展示ストーリー
(3)展示手法の検討
第 3 章 事業計画
(1)事業活動の考え方
(2)事業活動の検討
(3)市内博物館との連携
第 4 章 管理運営計画
(1)管理運営の考え方
(2)運営方式
(3)運営体制
(4)開館形態
第 5 章 開館スケジュール

### 4. 今後のスケジュール(予定)

令和6年 3月～	基本計画の審議(継続)
7月	パブリック・コメントの実施
8月	基本構想・基本計画の策定 建物改修設計、展示設計
令和7年度～	建物改修工事、展示工事 開館

## (仮称) 伊勢市郷土資料館基本構想 (案)

### 1. 施設の概要

次の施設を利用し、郷土資料館(※)を整備します。

※郷土の歴史・文化を紹介する博物館

- (1)施設名 いせ市民活動センター北館  
※地下1階、1階は従来どおりの施設用途(貸館等)とし、  
展示施設等は2階に整備
- (2)所在地 三重県伊勢市岩渕1丁目 96-1
- (3)構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
- (4)延床面積 1,685.86 ㎡  
〔内訳〕 地下1階 253.49 ㎡  
1階 654.26 ㎡  
2階 778.11 ㎡(うち展示可能な面積 約 570 ㎡)
- (5)建築年度 昭和58年度

### 2. 背景

伊勢市の郷土資料館は、昭和60年9月に旧山田郵便局電話分室(本町)に開設したことに始まります。平成6年からは、旧市立図書館(岡本3丁目)の建物に移転して開設しましたが、建物の耐震上の問題により、平成23年3月に閉館に至りました。それ以降、当市には郷土の歴史・文化を総合的に紹介する博物館がなく、施設再開の検討を続けてまいりました。

一方で、当市では長期的な視点で公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための伊勢市施設類型別計画を平成30年9月に策定しており、本計画のなかで、郷土資料館はいせ市民活動センターの建物を利用して再開することとしています。さらに、当施設の老朽後は、観光文化会館等との施設を複合させた新たな施設を整備する計画としています。

当市では本計画を踏まえ、中心市街地の恵まれた立地を活かしながら、郷土の歴史・文化を発信し、学習機会を提供するとともに、観光振興や地域活性化に資する施設とするため、いせ市民活動センター北館に郷土資料館を整備することとしました。

### 3. 現状の課題

#### (1)伊勢市の歴史・文化を総合的に発信する博物館の整備

市内には複数の博物館がありますが、いずれも特定の地域や場所、人物等を紹介・顕彰するための施設です。市民や来訪者が、伊勢市の歴史・文化を総合的に学ぶことができる施設が必要です。

#### (2)郷土の歴史的資料の保存と活用

資料の時代や地縁等の属性に関わらず展示公開できる博物館がないため、所蔵する歴史的資料を十分に活用できていません。また、市民等からの資料の受入れに際して、適当な施設がないために寄贈いただけないケースもあり、かけがえのない郷土資料の散逸を招く一因にもなっています。

郷土の歴史的資料を市民共有の財産として大切に守っていくとともに、それらの価値を伝え、市民や来訪者の知的関心に応えるための施設が必要です。

#### (3)市内の博物館との相互連携

当市では、市内にある博物館(民間施設を含む)の開館状況、展示やイベントの開催情報等を定期的に集約し情報発信していますが、十分に効果をもたらす取組にまで至っていません。より有効な情報発信の方法や施設間の連携による相乗効果を発揮するための新たな工夫が必要です。また、これらの取組を推進させるためにも、連携拠点となる施設が必要です。

### 4. 基本理念

『過去から繋がる歴史・文化を現在・未来へと継承し、  
郷土の魅力を発信するための拠点となる博物館』

### 5. 基本方針

次の基本方針に基づいて、郷土資料館の施設整備、運営方法や事業活動のあり方を検討します。

#### (1)歴史的資料を収集し、調査・研究成果の展示や教育普及活動を行う施設

郷土の歴史・考古・民俗・産業等に関する資料を収集し、かけがえのない歴史的

資料の散逸を防ぎます。また、これら資料の調査・研究を行い、由来や価値等を評価して展示活用するほか、学校等への出前授業や資料の貸出し等の教育普及活動を行います。さらに、伊勢市の歴史・文化に関する質問や相談を受け、調査・研究等をサポートするためのレファレンス・サービスを行います。

## **(2)伊勢市の歴史・文化への理解を深め、あらゆる世代が愛着や誇りを育むことができる施設**

伊勢市の歴史・文化を理解するために、最初に訪れてもらえる博物館を目指します。また、総合的に学習できる展示を行い、市民はもとより市外からの来訪者や子どもにも分かりやすい展示内容や、関心を引くような展示手法を取り入れます。そして、あらゆる世代に親しまれ、伊勢市に対する愛着や誇りを育むことができる施設を目指します。

## **(3)市内の博物館と連携し、相乗効果を生むための拠点としての施設**

市内にある博物館とのネットワークを再構築し、その連携拠点としての役割を担います。そして、各施設の最新の展示情報やイベントスケジュール、教育プログラム等を共有することで、来訪者等に対して一元的に情報提供を行います。また、共通のテーマやプロジェクトによる連携事業や学芸員の交流等、各施設間の連携と協力により、それぞれが持つ豊富な知識や資源を最大限に活かし、相乗効果を生み出すことを目指します。

## **(4)魅力ある歴史・文化を広く情報発信し、観光をはじめとした地域振興に貢献する施設**

伊勢市の歴史・文化の魅力や特性を市内外に広くアピールし、当施設のほか他の博物館や観光スポット等への回遊を促します。

また、地域資源を再発見・再評価して効果的に情報発信することで、地域コミュニティの活性化や郷土に対する愛着の醸成に寄与する等、地域振興に貢献する施設を目指します。